科目「中学音楽」シラバス

１．中学３年間での教科到達目標

多様な音楽文化の理解を深め、生涯にわたって美に対する憧れの心情を養う。	音楽の幅広い活動を通して、感性を高め、自己表現できる積極的な能力を養う。	基本的な音楽理論を通じ、音楽の仕組みを学ぶとともに、音楽を楽しみ、親しめる心の目を開かせ、仲間と協力して音楽を創り上げる能力を養う。

Ｓ：想定以上に該当能力の醸成が達成されたと判断されるもの
Ａ：期待通りに該当能力の醸成が達成されたと判断されるもの
Ｂ：部分的に該当能力の醸成が達成されたと判断されるもの
Ｃ：該当の能力の醸成が不十分と判断されるもの

２．科目の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
（教科名）音楽 （科目）音楽	１単位	第２学年	教科書：中学生の音楽２・３上 教育芸術社 大妻指定の音楽ノート ソプラノリコーダー アルトリコーダー
学習の到達目標	音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、歌唱や器楽の表現力を高める事に重点を置く		
評価の観点	＜知識・技能＞ 楽曲の内容や曲想に関心を持ち、その内容にふさわしい音楽表現を工夫して主体的に取り組もうとしている。		
	＜思考力・判断力・表現力＞ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや、意図を持っている。		
	＜主体性・多様性・協働性＞ 楽曲の内容や曲想を生かした音楽表現をするために、必要な技術や技能の能力を育てる。		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】
Ａ：「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・100%
Ｂ：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・ 80%
Ｃ：「努力を要する」状況と判断されるもの　・・・・・ 60%
Ｄ：未提出，未実施　・・・・・ 0%

2. 学習計画及び評価方法等

月	単　元	学習のねらい	学習のポイント，使用教材等
1学期	合唱　卒業式の全体合唱 「夢をあきらめないで」 岡村孝子　作詞・作曲 2部合唱	・発声、呼吸法、強弱などに注意して歌う。 ・合唱祭の導入として、新クラスでのハーモニー作りと卒業式の全体合唱曲として各人の思いを込めて歌えるように主体的な取り組みを目指す。 ・合唱の役割分担 ○昨年の合唱祭での取り組みの経験を生かし、2 部合唱のハーモニーの美しさを感じ取る。	・無理のない発声 ・歌う姿勢 ・口の開け方 ・短い時間内で正確なリズムと音を取るための工夫 ・指揮者、伴奏者、パートリーダーの選出
	器楽 「カントリーロード」 ジョン・デンバー 作曲： 宮崎駿 編曲．	・親しみやすい楽曲と調号のないハ長調である事からカリンバの導入曲としてふさわしいと考える。	
	カリンバという初の楽器への取り組み	・模範演奏として、タブレットに演奏動画の配信	・カリンバの特性 ・カリンバの運指の確認 ・カリンバの調弦方法
	「カリンバ模型の作製」	○自宅用のカリンバの模型を作成し、自宅での練習の参考にする。また、カリンバへの興味や関心を持たせる。 ○曲が仕上がるまでの練習の大切さと、曲が徐々に仕上がっていく楽しさを体感させる。	
	「カリンバ」実技テスト	○伴奏に合わせることにより演奏への集中力を高める。	・本番のテストで、出来るだけミスをなくし一定テンポ内で演奏できる事を目指す。
	楽典「楽典冊子」 「音楽の教科書」使用	・「音名」 シャープやフラットのついた音名の理解。	・日本音名 ・ドイツ音名 ・英米音名

1学期		・基本的な「音符・休符」と付点、複付点の取り扱い ・「反復記号」 ○「音名」「音符・休符」「反復記号」の理解を通して読譜力を高める事を目指す。	・リピート ・カッコ ・D. C. ・D. S. ・Fine. ・Coda
	音楽の「記号・用語」	・音楽における様々な記号に関して、読みと意味とスペルを学ぶ	
	鑑賞 「小フーガト短調」 バッハ作曲	・和声音楽との違いを聞き取りながら多声音楽の魅力を探る。 ・作曲者「バッハ」の生涯とその時代の音楽的特徴を理解する。 ・パイプオルガンの構造と特色 ○パイプオルガンの音色、多声音楽、フーガの形式を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。	・フーガ形式の理解 ・主題を基にした４つの声部の重なり方 ・各声部における「主題」と「応答」の流れ
	授業内小テスト	・一学期に学んだ音楽理論や鑑賞に関しての確認 ○理論を学ぶ事ことは、演奏を行う上でさらに豊かな音楽表現に繋がる事を理解させ主体的に取り組ませる。	

夏休み課題	合唱祭「クラス合唱曲の選曲に向けて」 「合唱祭候補曲シート」の提出	・合唱祭準備 ・グーグルクラスルームに配信する「合唱祭候補曲」を聞いて感想と選曲を行う。 ○クラスの雰囲気や声質などを考慮して曲選びのポイントを考えさせる。	・同じ曲でも編曲者によって曲の内容や雰囲気が変わる等を理解する。
2学期	合唱「曲目決定」 合唱「合唱の役割選出」 「曲作り」 「曲のイメージ作り」 「指揮法の基礎」 「伴奏の注意点」	・クラス合唱として取り組む曲目の決定 ・指揮者、伴奏者、パートリーダーの選出 ○立候補や推薦など、皆で協力して、より良い選出となるような取り組み方を実践させる。 ・パートリーダーを中心に自主的に音が取れるようにする。 ・曲に対するイメージをイラストにして描き、考えさせる。 ・歌詞の意味や歌詞に込められた心情を考える。 ○中学 1 年生での経験を基に歌詞の内容や音の重なり方、パートの役割を理解して曲にふさわしい表現を工夫させる。 ○より充実した響きを目指す。	・立候補者が出やすい雰囲気や、全体の前で自己表現ができるムード作りに取り組ませる。 ・パートリーダーが指示を出しやすい様に、皆で協力して参加する協調性を養う。 ・歌詞の内容や曲想に興味を持ち、主体的に取り組ませる。 ・拍子の基本的な図形 ・強弱 ・テンポ　rit. ﾌｪﾙﾏｰﾀの取り扱い ・歌と伴奏とのバランス

		○指揮と伴奏と合唱の３パートの一体が大切であることを理解させる。	
	「各パートの合わせ」	・指揮者、伴奏者と共に全体を通す取り組みを行う。	・パートごとのイメージを基に全体としてのまとまりや音楽表現を構築する。
		○楽譜に書かれている様々な記号に着眼して表現方法を考えさせる。	・歌詞 ・リズム ・強弱 ・多声的なパートの役割等の工夫
		○どのような練習が効果的なのかを話合い、練習方法を工夫させる。	
２学期	「歌の実技テスト」 前半	・実技テストとして、パート１人ずつで歌う。 ・公開の試験にすることで、他の仲間の演奏を聞き、自分の歌い方の参考にできるようにする。 ・指揮者や伴奏者は、グループの演奏聞いて、状況を把握してこれからの合唱作りの参考となるようにする。	・仲間の前で、他のパートにつられず、自分のパートがしっかり歌えるかを認識させる。
	「指揮者」「伴奏者」のテスト	・指揮や伴奏という技術的内容の他に、全体を指導するという試験を行いリーダー力を養う。	・指揮が振れたか ・伴奏が弾けたか ・前回の歌のテストから、指揮者や伴奏者は全員に適切な指示が出せたか
	「録画撮影」	・クラスごとの合唱の録画	・効果的な合唱隊形の工夫
		・合唱隊形に並ぶ。 ・演奏を録画して、意見の交流を行い、曲のイメージを具体化させる。	・表情、姿勢 ・歌詞 ・強弱
	「振り返り」	・全体を通しての感想 ・個人としての感想 ・良い点、反省点を考察	・パートのバランスの考察 ・積極的な意見交流ができるような主体性を持たせる。

冬休み課題	「振り返りシート」の提出	○合唱表現において、声部の動きや響きに関心を持ち、自分としては、その中でどのように歌うかについて主体的に取り組めるようにする。	・全体を通しての感想 ・個人としての感想 ・以上両面での振り返り
3学期	「歌の実技テスト」 後半 「仕上げ」 合唱　卒業式の全体合唱 「夢をあきらめないで」 二部合唱 「仕上げ」 歌唱　卒業式の歌 楽典「1年間のまとめ」	・実技テストとして、パート１名ずつで歌う。 ・提出した「振り返りシート」を基に、より充実した響きを目指す。 ○声部の役割や全体の響きを工夫しながら、どのように合わせて歌うかについて、考えや、意図を持たせる。 ○仲間と協力して音楽を創り上げる能力を養う。 ○合唱祭での経験を基に、音取りやリズム習得において、短時間で仕上げるための合理的な練習方法を工夫させる。 ・「君が代」斉唱	・他パートにつられず、強弱等の工夫ができたかを認識させる。 ・指揮者、伴奏者を中心に、パートごとやクラス全体で、意見の交流を行う。 ・発声 ・言葉の発音 ・呼吸法 などの技術を身に付ける。 ・パートリーダーの的確な指示 ・式典の心構え

3. 学習計画及び評価方法等

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
＜知識・技能＞ 授業で扱った音楽理論や用語・記号を理解し、読譜力が高まった。	定期考査 や提出物
＜思考力・判断力・表現力＞ 表現豊かな演奏に向けて、発声や強弱やリズムなどの工夫ができた。	授業の様子や実技テスト
＜主体性・多様性・協働性＞ 宿題を欠かさずこなす。不明点を解決するための努力をしている。	課題提出状況や、授業内・休み時間の様子で判断。

【提出物状況の評価基準】

Ａ：期限を守り、答えの丸写しではなく自分の考えで８割以上解答している。
Ｂ：解答はしっかりとできているが期限を守れなかった。
　　もしくは期限を守れたが空欄が２割以上ある。
Ｃ：「努力を要する」状況と判断される
Ｄ：未提出、未実施